

# 晩秋の古都『京都』にて延期開催決定!!

第50回夏期講座

## 基礎研究に基づいたゴム技術イノベーション

主催：一般社団法人 日本ゴム協会

協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本機械学会、日本接着学会

(予定) 日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本複合材料学会、プラスチック成形加工学会

マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会、日本レオロジー学会、岡山ゴム工業会

中国ゴム技術研究会、中国ゴム工業協同組合、広島ゴム技術委員会 (順不同)

台風8号の影響により延期されていましたが第50回夏期講座を、来る11月17日(月)・18日(火)の2日間、京都にて開催いたします。今回はゴムの基礎技術から最新の技術動向まで各分野の第一線でご活躍されている講師の先生方をお招きして、基礎研究に基づいたイノベーションのための講座を企画しました。さらに、桂キャンパスの化学系の研究室のラボツアーにおいて、大学での最新の研究が行われている現場に触れて頂く事も企画いたしております。多数のご参加をお待ちいたしております。

開催日時：講座 2014年11月17日(月) 午前9時55分～18時

11月18日(火) 午前9時30分～15時15分

ミキサー 11月17日(月) 19時～20時30分

場所：講座 京都大学 桂キャンパス 桂ホール(京都市西京区京都大学桂)

ミキサー 「東華菜館 本店」京都市下京区西石垣通四条下ル斎藤町140-2

定員：講座 100名

ミキサー 40名 いずれも定員になり次第締切ります

受講料：(10月31日(金)まで) 会員29,160円、会員外45,360円、学生会員5,400円

シニア制度対象会員 14,580円(60歳以上の正会員)、シルバー会員 23,328円

(11月1日(土)以降) 会員34,560円、会員外45,360円、学生会員5,400円

シニア制度対象会員 17,280円(60歳以上の正会員)、シルバー会員 27,648円

※ 含 消費税、テキスト代 賛助会員・協賛団体会員は2名まで会員扱い

ミキサー参加料 6,000円

\*料金にはいずれも消費税8%を含みます

申込方法：インターネット <http://www.srij.or.jp/> からお申込み下さい。

送金方法：現金書留又は銀行振込(三井住友銀行日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。振り込み手数料は受講者側でご負担下さい。

領収証が必要な方は申込書備考欄にその旨お書き添え下さい。一度ご入金された受講料は返金いたしかねます。

開催日が近づきましたら、開催に関するご案内を発送いたします。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第50回夏期講座 係

FAX 03 (3401) 4143 TEL 03 (3401) 2957 Eメール nakagawa@srij.or.jp

演 題	講 師・座 長
【11月17日(月)】 9:55～10:00 開講のあいさつ	(一社)日本ゴム協会会長 五十野善信
10:00～11:00 混練・押出機による混練技術装置の変遷とフィラー分散	【座長】住友ベークライト(株) 妹尾 政宣 同志社大学 理工学部 教授 田中 達也氏 バッチ混練機から現在の分類に至った混練・押出し機の変遷を解説し、その上で各混練機の混練特性を述べる。併せて、バッチ混練機、二軸混練機の現在進めている研究を紹介する。
11:10～12:10 レオロジストからみたゴムの力学物性の解析の諸問題	京都工芸繊維大学 工学科学研究科 教授 浦山 健治氏 ゴムの力学物性の解析手法について、演者が感じている諸問題を各論的に述べる。応力の時間依存性やひずみの線形・非線形効果の取り扱い、Mooney-Rivlinプロットの功罪など、事例を挙げて説明する。
12:20～13:20 高分子の伸長結晶化によるナノ配向結晶(NOC)生成と高性能化	広島大学大学院 総合科学研究科 特任教授 彦坂 正道氏 高分子の過冷却融液を伸長結晶化することにより生成する“ナノ配向結晶(nano oriented crystal, NOC)”の生成メカニズムと構造の解明と、高性能化について講義する。 【座長】京都大学 竹中 幹人
14:20～15:20 形状記憶ゲル新素材と3Dゲルプリンターの活用	山形大学大学院 理工学研究科 助教 宮 瑾氏 世界初透明度自在制御可能な形状記憶ゲル新素材と最先端の3Dゲルプリンターによる「材料開発⇔応用展開」の取り組みについて紹介する。

- 15：30～16：30 廃ゴムまたは廃タイヤ乾留炭化物を添加したポーラスアスファルト舗装  
 広島大学名誉教授 (株)米倉社会インフラ技術研究所 米倉亜州夫氏  
 廃ゴム又は廃タイヤ乾留炭化物をポーラスアスファルト舗装混合物に添加することによって舗装の長寿命化を図る。これは乾留炭化物中のカーボンブラックの架橋効果と紫外線遮蔽効果が大きいことから実現できる。
- 16：40～18：00 ラボツアー 工学研究科高分子化学専攻 澤本光男教授研究室  
 工学研究科化学工学専攻 大嶋正裕教授研究室  
 工学研究科高分子化学専攻 竹中幹人准教授研究室

19：00～20：30 ミキサー

【11月18日（火）】

- 9：30～10：30 天然ゴム（グアユール等）について  
 【座長】住友ゴム工業(株) 溝口 哲朗  
 (株)ブリヂストン 森田 浩一氏  
 タイヤの主要原料の中で大きなウェイトを占めるパラゴムノキ由来の天然ゴムに代わる新たな天然ゴム資源が探索されているが、その背景と「グアユール」等の事例を紹介する。
- 10：40～11：40 超臨界流体+ポリマー系の物性と応用  
 広島大学大学院 工学研究院 物質化学工学部門 教授 滝島 繁樹氏  
 ポリマー中への超臨界流体の溶解に伴うポリマーの物性変化と、これを利用した発泡、微粒子化、重合などの応用について概説する。  
 【座長】西川ゴム工業(株) 橋本 邦彦
- 13：00～14：00 (特別講演) 産総研のイノベーション創出戦略：中国地域における展開  
 (独) 産業技術総合研究所 上席イノベーションコーディネータ 中村 修氏  
 産総研は、環境・エネルギー、ライフサイエンス、情報通信・エレクトロニクス、ナノテクノロジー・材料・製造、計測・計量標準、および地質の6分野をカバーする国内最大級の研究機関であるが、これまでに培ってきた様々な技術シーズを活用して、持続可能な社会の構築に向けて、グリーンテクノロジーによる豊かで環境に優しい社会の実現とライフテクノロジーによる健康で安全な生活の実現を目指している。その一環として産総研の地域センターは、地域イノベーション創出に向けて、地域の企業が抱える課題を解決するために、オープンイノベーションハブとして機能することが求められている。本講演では、産総研中国センターで取り組んできた最近の連携活動について紹介する。
- 14：10～15：10 パルス法NMRによるゴムの解析  
 岡山県工業技術センター 岩路 仁氏  
 パルス法NMRによるゴムの不均一構造の評価方法を概説し、測定によって得られるパラメータとゴムの架橋密度、力学物性との関係について紹介する。
- 15：10～15：15 閉講のあいさつ  
 第50回夏期講座運営委員会委員長 竹中 幹人

プログラムは一部変更になる場合がございます  
 宿泊は各自でご手配下さい

☆お申込みは弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いします。